

区分・種別	県指定史跡		
名称	おおぞら・たかはらこふんぐん 大空・高原古墳群		
所在地	四国中央市土居町野田		
所有者	個人	管理団体	四国中央市
指定年月日	昭和32年12月14日		
解説	<p>この古墳群は、松山自動車道土居インターチェンジ進入路付近にある。両古墳群ともに樹木に覆われていたが、戦後開墾されたり、大規模な鶏舎が造られたりして多くが損壊し、指定時には10数基となっていた。その中でも5号古墳は最もその形態を良く保存している円墳で、墳丘は径約10m、高さ約4mである。両袖式の横穴式石室で石室全長6.2m、玄室長2.8m、玄門部には榿石があり、石段を造り出している。玄室の奥壁部に一段高く遺骸を安置する棺床が造られている。羨道部は玄室より一段と高くなっている。6世紀後半から7世紀代に築造された古墳群と推定されている。</p>		

